

令和5年度第1回長崎県独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構運営協議会  
長崎職業能力開発促進センター佐世保訓練センター一部会開催概要

〈開催概要〉

1 開催日時 令和5年6月26日（月）13：30～15：00

2 開催場所 佐世保訓練センター 視聴覚室

3 議題

- (1) 令和4年度職業能力開発業務の実施結果について
- (2) 令和5年度職業能力開発業務の実施計画及び進捗状況について
- (3) ものづくり体験教室の実施計画について
- (4) その他  
生産性向上支援訓練について

4 議事経過

事務局から資料に沿って説明後、質疑応答、意見交換が行われた。  
主な意見の要旨は、次のとおり。

- ・コロナからの回復が進み、企業の採用活動が活発となっている。ほとんどの産業で人材不足となっている。
- ・県内では、大企業の工場拡張や進出予定があり、特に半導体分野が活発な状況にある。人材の確保が課題であり、機構にも可能な分野で協力をお願いしたい。
- ・商工会議所が実施するセミナーもコロナ禍で受講者が少ない。今年度はDX関連のセミナーを増やしたが、企業も忙しいようで、申し込みは少ない。セミナーの在り方を見直していく必要があると考えている。
- ・「図面の見方」というテーマで、新入社員向けの在職者訓練を実施していただきたいという要望があった。
- ・電気工事業界では女性の技術者を増やすことに注力している。ポリテクセンター佐世保の訓練受講生募集パンフレットにも女性の訓練風景を増やす等して、積極的にアピールしていただきたい。
- ・AIの進歩により、人の仕事が奪われるという意見がある。一方で、少子高齢化が進み、働き手不足を補うために外国人労働者を受け入れるべきとの意見もある。
- ・AI化が進む分野もあるが、人による労働力もまだまだ必要であるとする。企業の人材確保に向けた支援が引き続き必要である。
- ・自身の技術をさらに伸ばせる在職者訓練について、他の企業にも紹介していきたい。
- ・県北地域の就労支援及び職業能力開発支援において、ポリテクセンター佐世保は重要な役割を担っている。
- ・女性をはじめ外国人や障害者等々、すべての人が活躍できる社会になってほしい。

令和5年度第1回長崎県独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構運営協議会  
長崎職業能力開発促進センター佐世保訓練センター一部会委員名簿  
(敬称略)

原 哲弘	長崎国際大学非常勤講師 (元同大学准教授)
瀬上 徳博	日本労働組合総連合会長崎県連合会佐世保地域協議会事務局長
足達 太一郎	佐世保商工会議所業務部長
中野 達也	佐世保機械金属工業協同組合代表理事
坂本 康則	佐世保電気工事業協同組合副理事長
末竹 伸二	佐世保管工事協同組合理事
林田 裕之 (座長)	佐世保公共職業安定所長
川口 晋治	長崎県産業労働部雇用労働政策課長
金子 泰雄	佐世保市観光商工部副部長